

○林間学校を間近に控えた一年生の皆さんへエールを贈る

入学して1ヶ月の皆さんの姿に思うこと

入学して1ヶ月が過ぎますが、一年生の皆さんは新しい生活には慣れたでしょうか。小学校とは違うことが様々あることに加えて、新しいクラス、新しい友達、新しい先生との出会いなど・・・環境が大きく変化し、戸惑うことや疲れることもあったのではないかと思います。

私自身も、3月まで勤務していた学校(南西中)からこの西中へ勤務が変わりました。同じ甲府市内の学校であっても、様々違うことがあり、戸惑うこともありましたが、幸い、私の場合は、先生やスタッフの皆さんに恵まれ、少しずつ慣れてきました。また、一年生の皆さんや二・三年生の明るく生活する姿を見るたびに力をもらっています。

さて、この1ヶ月の皆さんの姿を見て、感じているのは、上級生の姿を見習いながら、よく頑張っているなということです。朝の玄関や廊下ですれ違った時のさわやかな挨拶、授業で先生の説明を一生懸命聞いたり友達と話し合う姿、さらには部活動に真剣に取り組む姿などに感心しています。少しずつ皆さんの顔が中学生らしく、もっと言えば「誇れる西中」の生徒らしくなってきたとうれしく思っています。

林間学校に向けて

そんな中、いよいよ来週の月曜日から2日間、林間学校が行われます。つい先日、一年生の廊下を歩いていたら、下の写真の掲示物が目にとまりました。廊下を通りがかった生徒に聞いたところ、中央の絵は1年生の仲間が描いたものだとか教えてくれました。今回の林間学校のメニューである野外炊事、キャンプファイヤー、ウォークラリーなどが盛り込まれていてよい絵だなと思いました。周りの葉っぱには一人一人の決意が書かれています。「友情・絆を深める」「話をよく聞き、楽しい気持ちで終わる」「一致団結」「時間に気をつける」「挑戦して全力で頑張る」など素晴らしい決意ばかりで、「西中の1年生はすごいな」と感激しました。この決意どおり行動できれば、スローガンの「つくり出そう赤く燃える友情」は達成できると思っています。

とは言え、「いつも違う環境」で「楽しそうな活動」があるとなると「少しくらいなら、羽目(はめ)を外しても・・・」という心が出てくるかもしれません。

その時にどう振る舞えるかが大事です。個人で行く旅行ではなく、西中1年生という集団で行う学校行事です。一人一人がわがままを抑え少しの我慢をすることやお互いを気遣うことが必要になります。そうすることで、全員にとって楽しく、友情を深める林間学校になると思います。

青雲の志と西中の林間学校

始業式でも話をしましたが、本校は開校以来、「青雲の志」を大切にしてきました。西中学校は、昭和34年から平成11年までの40年間、「青雲寮」という独自の寮を北杜市に持っていて、毎年全ての学年がその寮で林間学校を行っていました。これは、全国的にも例がありませんでした。

その青雲寮にあった石碑が現在、生徒玄関前の花壇に置かれています。そこには「青雲に大志を抱く君たちが、高原に心を清め、夏に体を鍛えるために、この寮をつくりました」と記されています。

今はもう青雲寮はありませんが、その精神は、西中の林間学校に受け継がれていると思っています。西中の林間学校は「自分を鍛えるため」という側面もあるということです。

さあ、月曜日には出発です。

友情を深め、自分を鍛える・・・そんな林間学校になるように、心・もの・からだの3つの準備をしっかりとって当日を迎えましょう。

